

2020年度 富士通健康保険組合決算のご案内

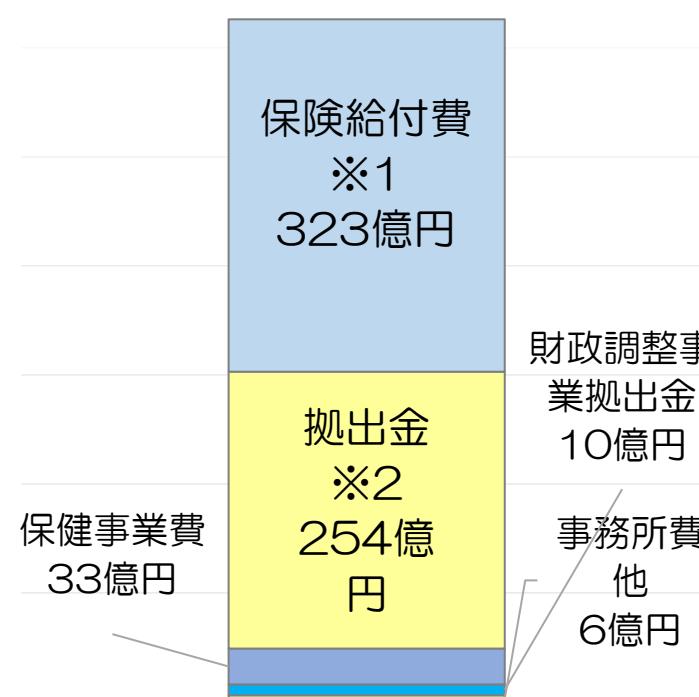
2020年度決算は、収入689億円、支出626億円、収支差引63億円の黒字となりました。保険料収入は、前年比16億円の増加。支出については、新型コロナウイルス感染拡大による医療機関への受診控え等の影響で保険給付費が前年比▲31億円、拠出金も前年比▲9億円等により、支出合計は前年比▲43億円となりましたが、今後は「2022年危機」「2025年問題」を控え社会保障費の急増が見込まれます。

健康保険組合としましては、新型コロナウイルスの感染拡大等による財政への影響を注視しつつ、みなさまの健康をサポートしてまいります。

■ 決算の状況



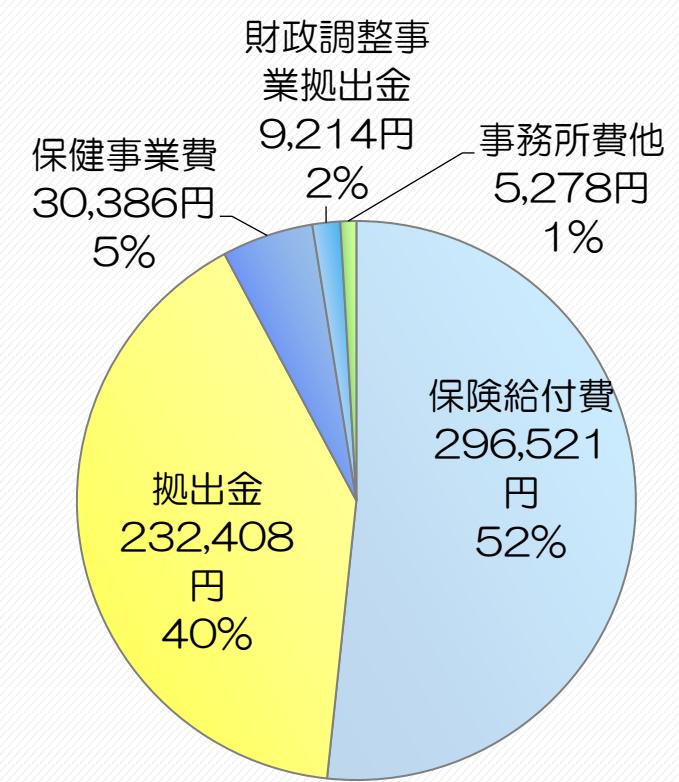
支出 626億円



※1 病院で支払う本人窓口負担以外（7割等）や、病気やケガ・出産時等の給付金
※2 全国の高齢者の医療費を支えるために国へ拠出（前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等）

収支差引残高 63億円

【2020年度】
～被保険者1人当たりの支出額内訳～
(平均被保険者数：109,036人)



被保険者1人当たり支出額 573,807円
(2019年度 604,534円)

～2020年度に実施した主な取り組み～

1. 社員と家族の健康意識の向上につながる施策の推進

・健康意識の向上

全社ウォーキングイベント「みんなで歩活」の実施
e-learning「がん予防と両立支援」(グループ会社)や
オンラインでの「ピンクリボンがんセミナー」を実施

・コラボヘルスの推進

健康通信簿の本格運用を開始
健康課題改善に向けた取り組みを推進するため、関係する
人事・健康推進部門と連携し経営層へのアプローチを実施

・スポーツクラブのオンラインサービスの拡充

加入者向けオンライン健康セミナー「RIZAPウェルネス
チャンネル」に引き続きオンラインフィットネス「トル
チャ」の配信

2. 各種健診の充実と適切な対応の推進

・生活習慣病対策、特定健診・特定保健指導

ICTを活用した保健指導(Fスマートプラン)の実施

・歯科検診の推進ならびに予防歯科への取り組み

事業所、OP医院と連携した歯科検診ならびに予防
歯科のトライアル拡大と本格運用検討

・婦人科健診

女性社員の受診率向上のため、定期健康診断受診時に合わせた婦人科健診の継続実施

・重症化予防対策

未受療者に対する受療勧奨に加え、重症化予防進捗
管理システムを活用し受療状況の集約を開始

・喫煙/受動喫煙防止

富士通グループ全社イベント「みんなで禁煙チャレンジ」
と「オンライン禁煙プログラム」を実施

・配偶者健診

LINEを活用した受診勧奨施策の検討と実施

3. 医療費をはじめとする各種費用の適正化

・接骨院等で長期にわたり受療している方への受療歴通知 による適正化の推進

・被扶養者現況確認の実施

・特例退職者による保険料前納対応（半年払または年払）